

V 調査研究

調査研究事業は、感染症情報センターの専門的機能の維持向上に不可欠な活動であり、衛生研究所の機能の一つに位置付けられている。ここでは、各担当の業務に関連した調査研究を紹介する。

1 研究事業

令和元年度は、厚生労働科学研究等以下の5件の研究事業を実施した。

(1) 厚生労働科学研究

- a. マスギャザリング時や新興・再興感染症の発生に備えた感染症サーベイランスの強化とリスクアセスメントに関する研究

感染症サーベイランスについての継続的な研究を行っており、地方衛生研究所・感染症情報センターの立場で参画し、原因不明疾患のための疑似症サーベイランスの運用等を行った。

- b. 食品由来感染症の病原体情報の解析手法および共有化システムの構築のための研究

埼玉県で分離された腸管出血性大腸菌について、MLVA法等の分子疫学的手法で解析を進めた。

- c. 下痢症ウイルス感染症の分子疫学及び流行予測に関する研究

下痢症ウイルスの流行予測と感染制御に資することを目的に、患者の排出するノロウイルス等を対象にカプシド領域遺伝子配列解析を実施し、ウイルス遺伝子配列の時系列変遷データを蓄積した。

- d. 食品由来薬剤耐性菌のサーベイランスのための研究

ー地研ネットワークを利用した食品およびヒトから分離されるサルモネラ、大腸菌、カンピロバクター等の薬剤耐性の動向調査ー

埼玉県におけるヒト及び食品由来のサルモネラ等の疫学的・遺伝学的な解析を行い、食品由来薬剤耐性菌の動向を把握する調査・研究を行った。

- e. 新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・用法の開発に向けた研究

衛生研究所で行われているエンテロウイルス検査状況及び検査方法についてアンケート調査を行い、実態の把握を行った。また、エンテロウイルスD-68を含めたエンテロウイルスの検査を効率よく行うための検査法を検討した。

(2) 他機関との共同研究

- a. 下水処理施設における流入水の腸管系ウイルスの実態調査(埼玉県下

水道公社)

県民の感染性胃腸炎等の流行状況把握に関して下水中のウイルス検査の有用性を探るとともに、腸管系ウイルスの流行の実態把握のための資料を得ることを目的に、下水における腸管系ウイルスの実態について調査した。

2 学会発表

学会発表等、研究成果の外部への公表は、11件行った(表V-2-1)。

表V-2-1 令和元年度学会等報告

No.	演題名	研究者名	学会名	発表年
1	「対策が目目されている食中毒の背景と現状」腸管出血性大腸菌食中毒—最近10年の発生状況及び課題と対策—	齋藤章暢	第40回日本食品微生物学会学術総会	2019
2	埼玉県における風しん発生状況・感染症発生動向調査で収集した風しんに関する情報解析	尾関由姫恵 尾上恵子 齋藤章暢 内田和江 岸本剛 本多麻夫	第78回日本公衆衛生学会総会	2019
3	埼玉県における水痘ワクチン定期接種状況の生年別調査	尾上恵子 尾関由姫恵 齋藤章暢 岸本剛 本多麻夫	第78回日本公衆衛生学会総会	2019
4	元荒川水循環センター流入水における腸管系ウイルス調査	小川泰卓 内田和江 岸本剛	第78回日本公衆衛生学会総会	2019
5	2018年の埼玉県感染症発生動向調査における風しん症例について	青沼えり 篠原美千代 富岡恭子 鈴木典子 峯岸俊貴 小川泰卓 宮下広大 内田和江 倉園貴至 岸本剛	第60回日本臨床ウイルス学会	2019
6	下水処理施設における流入水の腸管系ウイルス実態調査について	小川泰卓 峯岸俊貴 宮下広大 篠原美千代 鈴木典子 青沼えり 内田和江 福島浩一 岸本剛	ウイルス性下痢症研究会第31回学術集会	2019
7	埼玉県における性感染症の発生動向 —HIV・梅毒・A型肝炎・アメーバ赤痢—	宜保輝 小菅隆裕 安藤紗絵子 尾上恵子 尾関由姫恵 齋藤章暢 岸本剛	第21回埼玉県健康福祉研究発表会	2020
8	ラグビーWC及び東京オリンピック・パラリンピックにおける感染症対策について	小菅隆裕 宜保輝 安藤紗絵子 尾上恵子 尾関由姫恵 齋藤章暢 岸本剛	第21回埼玉県健康福祉研究発表会	2020
9	埼玉県におけるノロウイルスの検出状況	大崎哲 篠原美千代 鈴木典子 江原勇登 小川泰卓 青沼えり 宮下広大 内田和江	第21回埼玉県健康福祉研究発表会	2020
10	結核接触者健康診断におけるIGRA検査の実施状況(平成30年度)	石井明日菜 石澤文菜 福島浩一 倉園貴至	第21回埼玉県健康福祉研究発表会	2020
11	埼玉県における結核菌分子疫学調査の実施状況について	石井明日菜 石澤文菜 小林匠 富岡恭子 砂押克彦 福島浩一	第21回埼玉県健康福祉研究発表会	2020

3 論文発表

雑誌等への研究成果の外部への報告は、13件行った(表V-3-1)。

表V-3-1 令和元年度雑誌等報告

No.	題名	著者名	誌名	発表年
1	クオンティフェロン®TBゴールド検査の判定保留者に対して実施したT-スポット®、TBからの一考察	石井明日菜 濱本紀子 福島浩一 岸本剛 中島守	結核 94,367-371,2019	2019
2	元荒川水循環センター流入水及び放流水における腸管系ウイルス調査(2017年度~2018年度)	峯岸俊貴 小川泰卓 篠原美千代 富岡恭子 鈴木典子 青沼えり 内田和江 倉園貴至 丸山信之 古屋佑樹 鈴木雅之	埼玉県衛生研究所報 53, 35-44, 2019	2019
3	感染症発生動向調査情報に基づく埼玉県の患者発生状況-2018年-	尾関由姫恵 小菅隆裕 猪野翔一朗 尾上恵子 山田さゆり 斎藤章暢 岸本剛	埼玉県衛生研究所報 53, 52-64, 2019	2019
4	埼玉県の腸管系病原菌検出状況(2018)	佐藤孝志 塚本展子 砂押克彦 福島浩一 倉園貴至	埼玉県衛生研究所報 53, 65-66, 2019	2019
5	埼玉県におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の検査状況(平成28~30年度)	塚本展子 砂押克彦 佐藤孝志 倉園貴至 福島浩一	埼玉県衛生研究所報 53, 67-71, 2019	2019
6	埼玉県におけるIGRA検査の実施状況(2018年)	石井明日菜 石澤文菜 濱本紀子 近真理奈 砂押克彦 福島浩一	埼玉県衛生研究所報 53, 72-74, 2019	2019
7	埼玉県における結核菌分子疫学調査の実施状況について(平成28~30年度)	石井明日菜 濱本紀子 石澤文菜 近真理奈 砂押克彦 福島浩一	埼玉県衛生研究所報 53, 75-77, 2019	2019
8	感染症のウイルス病原体検査における精度管理検査の実施状況(2016-2018年度)	内田和江 篠原美千代 富岡恭子 鈴木典子 峯岸俊貴 小川泰卓 青沼えり 宮下広大 倉園貴至	埼玉県衛生研究所報 53, 78-80, 2019	2019
9	感染症発生動向調査におけるウイルス検出状況(2018年度)	鈴木典子 篠原美千代 富岡恭子 峯岸俊貴 小川泰卓 青沼えり 宮下広大 内田和江	埼玉県衛生研究所報 53, 81-86, 2019	2019
10	インフルエンザウイルス検出状況(2018/2019シーズン)	鈴木典子 篠原美千代 富岡恭子 峯岸俊貴 小川泰卓 青沼えり 宮下広大 内田和江	埼玉県衛生研究所報 53, 87-91, 2019	2019
11	埼玉県における食中毒関連検査のウイルス検出状況(2018年度)	小川泰卓 峯岸俊貴 青沼えり 富岡恭子 鈴木典子 宮下広大 篠原美千代 内田和江 倉園貴至	埼玉県衛生研究所報 53, 92-96, 2019	2019
12	重大感染症対策事業の進捗状況(2018年度)	小川泰卓 峯岸俊貴 篠原美千代 富岡恭子 鈴木典子 青沼えり 宮下広大 内田和江 倉園貴至 岸本剛	埼玉県衛生研究所報 53, 97-98, 2019	2019
13	感染症流行予測調査(平成30年度)	青沼えり 富岡恭子 篠原美千代 鈴木典子 峯岸俊貴 小川泰卓 宮下広大 内田和江 倉園貴至 岸本剛	埼玉県衛生研究所報 53, 99-100, 2019	2019